

私達の心の中には、
あの強烈なハルモニの姿が
永遠に生きている。

劇団石ひとり芝居

在日 バイタル チェック

脚本・演出・出演 きむきがん

2016年

11月19日〔土〕

17:00～(開場は30分前)

新長田勤労市民センター
大会議室

〒653-0038神戸市長田区若松町5-5-1
(JR新長田駅南側すぐ。東急プラザ3階)

◆チケット

一般前売り2,000円／一般当日2,500円

中高生は前売り・当日とも1,000円
(定員200人)

★きむきがんライブ情報

11月20日(日)14:00～(開場は30分前)

カフェナドゥリ(JR新長田駅南側すぐ)

※要予約(定員40人)

(入場料)
1,500円+
ドリンク

◆主催

一般社団法人神戸コリア教育文化センター

〒653-0038神戸市長田区若松町3-1-1-103

TEL078-777-2232 FAX078-771-4639

korea.uriecc@gmail.com 090-3671-1370



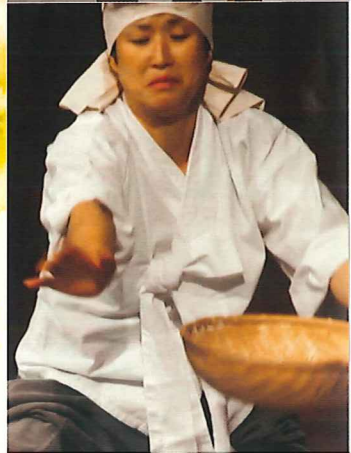
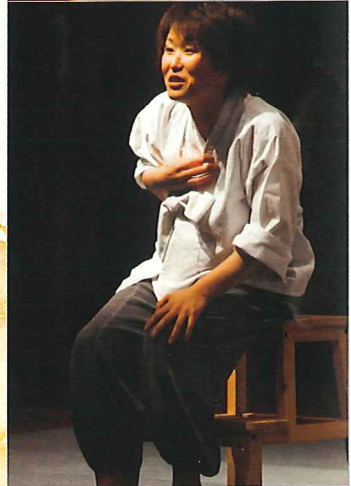
舞台は在日コリアン1世が通うデイサービスセンター「민들레(たんぽぽ)」。1世のハルモニと2・3世のスタッフ達の愉快的な毎日に、壮絶な歴史をたくましく生き抜いてきた1世達の思いと「今」に悩む2・3世の思いが笑いと涙の中で交差する。「在日朝鮮人」とよばれる人達がなぜ日本にいて、そこにはどんな暮らしがあるのか。バイタル(医)＝「生きている証」正気に満ちたさま。活力に満ちたさま。脈拍・心拍数・呼吸・血圧・体温…鼓動を意味する。

◎作・演出・出演/きむ きがん
◎音響効果・スタッフ/こん きじや、黄裕子
◎協力/嘘みたいな本当の在日話『劇団石(トル)サポーターズ』



私達の心の中には、 あの強烈なハルモニの姿が 永遠に生きている。

アンニョンハシムニカ?! ひとり芝居「在日バイタルチェック」に関心をよせて下さる皆様に感謝します。劇団石(トル)は朝鮮語で石という意味です。これは、私達の暮らしにある様々な矛盾や差別にお芝居でもって一石投じたいとか、自分のルーツである済州島にとっても石が多いということとか、また石が、最初ごつごつしているけれどその流れの中でだんだん丸みをおびてくるように私たち人間も、様々な出会いの中でごつごつとぶつかり合いながらもそのうち丸くつながっていったらいいとか、自分は石がちよっと好きとか、いろんな想いを込めて名づけました。劇団が基調とする朝鮮半島に伝わるマダン劇は、民衆が生きていくために欠かせない芸能の一つで、村の中心に備えられたマダン(広場)に芝居を作り、見る者も演じる者もすべての村人がその生活の喜びも苦労も分かち合ってきたものです。私達はその理念を大切に「民衆による民衆のための生きる糧になる芸術」を目指し活動を続けています。今回もまたここで少しの間みなさんとともに、今日の出会いのマダンを深めることができればいいなと思っています。ひとり芝居「在日バイタルチェック」は2013年10月の初演から旅を重ね、たくさんのお会いがあり、どんどん深まりはじめています。舞台上がるのは私一人ですが、その向こうにはたくさんの方の想いと歴史がつまっています。私達の日々の心の中には、みなそれぞれにあの強烈な1世のハルモニの姿が生きています。時代に翻弄されながらも生き抜いてきた我々在日同胞の恨(ハン)がそこに凝縮しているといっても過言ではありません。「在日バイタルチェック」は、私の体を通して、先人達のその生き様がどうか歴史に埋もれてしまわないように、みんなの心に残ってほしい、そして次に繋げたい。そんな作品です。ご覧になられる皆様がその何かを感じ、一緒に手をつないでくださればなによりです。人が人として生きる儚さを抱いてそれでも豊かに人とつながるために、私はお芝居を通して平和の粒になりたい。また新たな出会いに感謝を込めて、熱く確かに一生懸命舞台上で遊ぼうと思います。



劇団石(トル) 主宰:きむきがん

2004年設立。滋賀県彦根市に拠点を置き、一人芝居・演劇ワークショップなど、関西一円で活躍中。パワフルな笑いの中に、常に社会的弱者に目を向けた作品を上演している。代表作に、違いを認め合って生きることをテーマにした「かもめに飛ぶことを教えた猫」、すべての生き物の尊厳を描いた「カンアジソン(こいぬのうんち)」、野宿労働者をテーマにした「民衆劇釜ヶ崎～おっちゃん達の間宣言～」、部落差別の歴史と現状を描いた「人の値打ち～たまちゃんとはるちゃん～」などがある。